

序 研究の課題と本書の方法	3	第5章 初期瓦窯の操業体制 隼上り瓦窯と楠葉平野山瓦窯	130
第1部 日本の造瓦技術と初期瓦生産体制			
はじめに	17	I. はじめに 130	
第1章 飛鳥寺式、斑鳩寺式軒丸瓦の成立と展開	28	II. 隼上り瓦窯の操業 131	
I. はじめに 28		III. 楠葉平野山瓦窯の操業 141	
II. 飛鳥寺式、斑鳩寺式軒丸瓦の系譜 29		IV. まとめ 144	
III. 飛鳥寺式、斑鳩寺式軒丸瓦の展開 30			
IV. 飛鳥寺式、斑鳩寺式軒丸瓦の製作技法とその生産地 37		第6章 初期瓦生産期の造瓦技術と生産体制	147
V. まとめ 50		I. はじめに 147	
第2章 奥山廃寺式、豊浦寺式軒丸瓦の成立と展開	55	II. 日本の初期造瓦技術 147	
I. はじめに 55		III. 日本の初期瓦生産体制—遠隔地生産と在地での生産— 151	
II. 奥山廃寺式軒丸瓦 55		IV. まとめ 167	
III. 豊浦寺式軒丸瓦 66			
IV. まとめ 83		第2部 百済の造瓦技術と瓦生産体制	
第3章 船橋廃寺式軒丸瓦の成立と展開	89		
I. はじめに 89		はじめに	173
II. 船橋廃寺式軒丸瓦の系譜 90		第1章 熊津、泗沘時代の素弁蓮華文軒丸瓦の系統とその展開	179
III. 船橋廃寺式軒丸瓦の展開 92		I. はじめに 179	
IV. 船橋廃寺式軒丸瓦の製作技法と生産地 97		II. 素弁蓮華文軒丸瓦の系統とその展開 180	
V. まとめ 101		III. まとめ 201	
第4章 初期瓦窯の造瓦技術 隼上り瓦窯を例として	104	第2章 百済における「大通寺式」軒丸瓦の造瓦技術	206
I. はじめに 104		I. はじめに 206	
II. 隼上り瓦窯の操業 104		II. 「大通寺式」軒丸瓦 207	
III. 軒丸瓦の製作技法とその変遷 110		III. 「大通寺式」軒丸瓦の成立 209	
IV. 隼上り瓦窯の造瓦技術の周辺地域での動向 115		IV. 「大通寺式」軒丸瓦の展開1—大通寺系— 211	
V. まとめ 124		V. 「大通寺式」軒丸瓦の展開2—金徳里系・軍守里系・鳳凰洞系— 217	
		VI. まとめ 222	
		第3章 消費地からみた泗沘時代の瓦生産 軍守里廃寺を例として	231
		I. はじめに 231	
		II. 軒丸瓦について 231	

III.	軍守里廃寺の軒丸瓦	234
IV.	軒丸瓦 I 1、II 1について	247
V.	その他の軒丸瓦の製作年代	257
VI.	まとめ	259

第4章 泗沘時代の瓦窯における生産と技術 264 亭岩里窯跡を例として

I.	はじめに	264
II.	亭岩里窯跡に関わるこれまでの研究	265
III.	亭岩里窯跡の概要	268
IV.	亭岩里窯跡の操業体制と造瓦技術	277
V.	まとめ	293

第5章 百済の造瓦技術と瓦生産体制 300

I.	はじめに	300
II.	百済の造瓦技術	300
III.	百済の瓦生産体制	302
IV.	まとめ	329

結論 古代日本と百済の造瓦技術と瓦生産体制 335

I.	はじめに	335
II.	古代日本の造瓦技術の展開と百済からの影響	335
III.	古代日本と百済の瓦生産体制	346
IV.	まとめと今後の課題	356